記入例

つながろう、心で　　広げよう、笑顔の助け合い！

「地域助け合い基金」でコロナ禍を乗り越えて共生社会へ

＜ 活動報告書 ＞

（提出期限は申込書に記載された使用期間の**最終日から１か月後**になります）

記入日：20〇〇 年　〇 月 〇 日

1.　団体情報

登録番号	１００００００ ― Ａ
団体名	さわやか町内会
担当者名	幸福　太郎

2.　生活支援コーディネーターとの連携 （申込時に報告している場合はご記入不要です）

ふりがな	ひろい　きずな	財団記入欄	
氏名	広井　絆	区分	第1層□ ／ 第２層☒
ふりがな	〇〇ちいきほうかつしえんせんたー	電話	－　　－
連絡先（組織等）	〇〇地域包括支援センター	Email	hiroi.kizuna@marumaruhoukatsu.jp

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）にアプローチした際の状況などについてご記入ください
（アプローチした際の内容、今後の連携について、具体的にご記入ください。対等を断られた場合は、その状況などを簡単お知らせください）

3-1. 助成金の活用結果報告 （金銭面）

助成受領額	円

以下に活用の内訳と使途を具体的にご記入ください（領収書等は不要）
（申請した活動に関する助成金をどのように使用したか、具体的に費目毎に内容と金額をご記入ください。※残金が出た場合はさわやか福祉財団宛に別途ご連絡ください。取り扱いについてご連絡します）

3-2.　助成金の活用結果報告 （活動面）　※さわやか福祉財団のホームページで公開します

実施した活動内容を具体的にご記入ください。
特に、本活動を通じて「新たに生まれた地域のつながりや、活動者・参加者の想い、気づき」、「地域への影響や進めるうえでどんな課題があったか、どんな点に苦労したか」などについて、ご報告ください。
　　助け合いを全国に広めるために、熱いメッセージをお待ちしています！

実施した活動について、取り組み内容、成果を具体的にご記入ください。住民の方々の反応や地域への影響・波及などについてもぜひお聞かせください

この欄にご記載いただいた内容は、さわやか福祉財団のホームページに掲載いたします

4. 今後の展開（自由記入）　**※さわやか福祉財団のホームページで公開します**

地域の方にアピールしたいことや、この活動の今後の目標などを教えてください。 活動を広げるために、知りたい情報やノウハウなど、どのようなことでもかまいません。
今回の助成金の活用を通して気づいたこと、 活動の発展に向けたお考えなどをご記入ください **この欄にご記載いただいた内容は、さわやか福祉財団のホームページに掲載いたします**

添付資料の「顔写真」「電話番号」の HP への掲載についても、ご確認ください

■注意事項

・記入洩れや、添付洩れが無いように、提出前によく確認してください。
・記載スペースが不足する場合は、この用紙（フォーム）で簡潔にまとめた上で、別紙を添えてください。
・活動状況が分かる写真と、あればチラシ等もご提出ください。
なお、ご提出いただいた写真やチラシの一部（または全て）は、さわやか福祉財団のホームページに「活動報告」として掲載させていただく場合があります。
該当データの選別やレイアウト調整等はさわやか福祉財団事務局で行います。
原則、電話番号と新聞等メディア情報は掲載いたしません。
その他、住所情報や顔写真を含む場合など、一般に開示することを望まない資料を添付する場合は、お手数ですが、提出の際にその旨を伝えください。

パソコンで作成入力される場合は「指定の Word 形式のままのファイル」をメールに添付してご送付ください

できるだけ「Word 形式」でのファイルの提出に、ご協力をお願いしま